



6月の星空案内



北

2021年6月中旬
21時頃の空



東

西

南



●	0等星
●	1等星
●	2等星
●	3等星

6月は梅雨の時期なので、星空とは縁遠くなってしまうがちですね。もし梅雨の中休みで、夜晴れていれば空を見上げてみましょう。雨上がりの夜空は、雨によって大気中のチリなどが一掃されるため、透明度の良い美しい空になることがあります。この時期の夜空は**北斗七星**を目印に**春の大曲線**を描けば、**アークトゥルス**や**スピカ**という春の明るい星をたどることができます。一方で東寄りの空には夏の星々が昇り、小学4年生も学習する**さそり座**や**夏の大三角**が見えはじめています。少し空の暗いところであれば、頭の真上付近には**かんむり座**という小さな星座を見ることができ、半円状の星の並びがとても印象的です。日本では地域によって半欠け星（ハンカケボシ）、車星（クルマボシ）など独特な呼び方もあったようです。

天体観望会のご予約はネットかお電話にて 【毎週土曜日開催 / 19時～, 20時～, 21時～】

阿南市科学センター

電話 0884-42-1600

<http://ananscience.jp/science/>

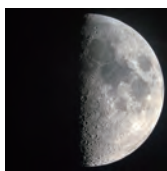
■ 6月の月の満ち欠けと惑星について



下弦
2日



新月
10日



上弦
18日



満月
25日

水星：6月は観察しやすい時期がない(6/11に内含)。

金星：日没後に宵の明星として西のごく低空で見える【約-3.9等】。

火星：日没後、西の低空で見える。【約1.8等】

木星：夜半過ぎ、東の空から昇り、夜明けまで見える。【約-2.5等】

土星：夜半前、東のから昇り、夜明けまで見える。【約0.5等】

※各惑星の等級は中旬頃の明るさ。

天体観望会で
月が見えるおすすめ日時は？



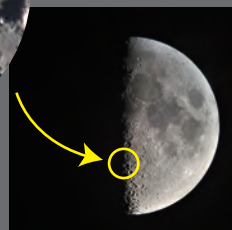
6/19(土)

19時, 20時の回



月面 X
について

6/17(木) 21:30 頃は
月面に X のような文字が
浮かび上がるぞ！



■ 今月のおすすめの観察対象やトピック

【おとめ座の楕円銀河 M87】



図1：四国最大の望遠鏡で撮影した楕円銀河 M87。銀河のすぐそばに M87 より噴き出したジェットが確認できる。(by K. Imamura)

楕円銀河に分類されるおとめ座の M87 は、約 5500 万光年の彼方にある天体です。望遠鏡で観察すると渦巻状の構造は見られず、淡く円状に近い星雲のように見えます。写真撮影を行うと、図1のように銀河本体から伸びる**ジェット**が確認できます。これは M87 の中心にある**巨大ブラックホール**から噴き出したものだと考えられています。このジェットの存在は 1918 年頃、アメリカの天文学者 H. D. カーチスによって報告され、その後様々な天文学者が M87 に潜むブラックホールについて、観測・研究を行ってきました。2019 年頃に日本を含む国際チームが電波望遠鏡**イベント・ホライズン・テレスコープ**を使い、ブラックホールの存在を M87 で初めて撮影したことは記憶に新しいですね。

【日本人宇宙飛行士が乗る 国際宇宙ステーションを見よう！】

上空約 400km の宇宙を舞う国際宇宙ステーション (ISS) には、現在“**星出彰彦**”さんという日本人宇宙飛行士が滞在しています。星出さんは今回のミッションで日本人としては二人目となる、ISS の**船長 (コマンダー)** という大役を担っています。

そんな ISS ですが、しばしば夜空を移動する ISS の輝きを見ることができます。**「きぼうを見よう」**というホームページを見て頂くと、向こう 10 日くらいの ISS 通過の予報を調べることができます。飛行機とちがい、光点が点滅せずに動いていくのが特徴で、条件が良いと 1 等星の約 100 倍近い明るさで見えることもあります。



図2：2020.11.21 に科学センターの上空を通過したときの ISS の光跡。望遠鏡 (D=20cm, F10) による拡大撮影は 2021.01.19 に撮影。(by K. Imamura)